

# 点訳通信

35号

盲人情報文化センター 点字製作係  
550-0002 大阪市西区江戸堀 1-13-2  
TEL 06-6441-0015 FAX 06-6441-0039

## 点訳をやめられない理由<sup>わけ</sup>

和田 千恵子

1992年から大阪で暮らすようになり、点訳サークルでせっせと点訳に励んでいました。家族の事情などで活動を休むことになりましたが、昨年9月からこちらで点訳を続けられるようになりました。点訳に向いているかと言うことは別にして、「点訳が好きなんだ、やめられない」とあらためて気づきました。

何でやめられないかという、まず一つの物を作り上げる楽しみがあります。特にパソコン点訳になってからは、機械いじりのおもしろさが加わって「私だってパソコンが使えるぞ」と。下調べで図書館通いをするもののほとんどが関係のない本ばかり見て遊んでいたりと、それと本屋の立ち読み、これも楽しみの一つです。しかし、「楽あれば苦あり」で、パソコンを使い始めた頃はパソコンからよくバカにされました。今でも時々あります。それと何年たっても誤字、脱字、誤読、思い込みは直りません。「3歩歩けば立ち直る」の精神でめげずに続けています。

点訳をしていなかったら読むことのない本もたくさんありました。一番の喜びは、いろんな人と出会えたことです。これは私の宝物です。これからも無理のない範囲で点訳を続けていきたいと思えます。（わだ ちえこ）

## 報告 勉強会

遅くなりましたが、1997年12月3日に開催された勉強会の報告です。“本文の前にある謝辞、献辞などの書き方”というテーマで行われました。

翻訳小説などでは、本文に入る前に、詩編の引用や献辞が書かれている例が多く見受けられます。これといって決まったマニュアルがあるわけではないようで、点訳上の悩みの一つです。勉強会では数例について検討されましたが、紙面の都合で代表的な一例について報告します。

例に用いました本には目次がついていません。ページを繰り8ページから本文が始まります。

## 謝辞

著者は、当稿の準備にあたって多大の助力を与えてくれた多くの友人たちに、ここで感謝の言葉を述べておきたい。A・マイケル・ヒル、ジョセフ・ファンゾーン・ジュニアはとりわけ、時間とすぐれたアイデアを惜しみなく提供してくれた。ほかに、チャールズ・ハザード、ジャック・ドーゾン、ウエイン・・・・

(中略)

・・・述べてくれたことに格別の感謝を表すものである。

ルーシーに

われらは特攻戦士  
民族の英雄  
暗黒の時代の獅子たち  
われらは犠牲にする  
生命も財産も  
それが  
クルディスタン解放のためならば  
われらは復讐する  
クルド人殲滅の  
機会を窺う  
多くの罪深き者たちに  
それがつづく世代に  
教訓となつて  
役立つことだろう

——クルド人戦士賛歌

古き佳き<sup>よ</sup>国アメリカには、まだほんとうにカウボーイが残っているのだろうか？

——レイシー・J・ドルトン

クルドの暗殺者 上巻

1

この時代、この土地柄の基準からすればまずまずの成功者といえるレイノルド・ラミレスは、もう少し々のことがあっても驚きはすまいと思っていた。冷静な褐色の顔のアステカ族の顔であり、インディアンの顔であり、農民の顔であり、ギャングの顔だったが、彼は

(以下 省略)

主要登場人物

- レイノルド・ラミレス ----- メキシコ人の密輸業者
- オスカル・メサ ----- ラミレスの部下
- ロベルト ----- ラミレスの店のボーイ
- ポール・チャーティ ----- 元CIA秘密工作員
- ジル・トレウィット ----- CIA局員
- ウル・ベク ----- クルド人の戦士
- ジョアンナ・ハル ----- ハーヴァード大学教授
- ジョセフ・ダンツィグ ----- 元国務長官
- サム・メルマン ----- CIA工作担当副長官
- マイルズ・ラナハ ----- コンピュータ分析員
- フレンチリー・ショー ----- 元CIA秘密工作員
- マリオン ----- 故人その部下
- スペシエネフ ----- KGBの大佐
- レオ・ベニス ----- FBI 特別捜査員



## 2～4頁

それぞれページを改める必要はありません。中央12マス区切り棒線と1行アケとでページが改まったと考えてよい。また、区切り棒線と1行アケの替わりに、2行アケでもよい。

—— クルド人戦士賛歌、—— レイシー・J・ドルトン の —— は省いて、行末に入れるようにします。

## 7頁

登場人物とその説明文との間はこちらに示した2マスアケのほか、小見出し符も使えます。

「主要登場人物」の項目は、目次に入れます。登場人物の紹介は、本のカバーやしおりにのみ記載されていることがありますが、その場合も、適宜見出しをつけ、本文の直ぐ前のページに点訳します。

## その他

著者紹介はどこにあっても（本文の前でも、カバーのみでも）、最終巻奥付けの直ぐ前にページを改めて入れます。

凡例には、点訳本に不要な項目もあります。点訳書に適した凡例となるよう工夫します。

ページは、目次紙の次のページが1ページとなります。

最後に、8頁の本文の前に2頁の「ルーシーに」のページのみがあるパターンも、よく見かけます。このパターンには、二つの方法が紹介されました。

### （例 1）

◇◇ルーシーニ

32マス区切り棒線

（1行アケル）

◇◇◇◇◇数1

◇◇コノ◇ジダイ、◇コノ◇トチガラノ◇ . . .

### （例 2）

◇◇ . . ◇ルーシーニ◇ . .

（2行アケル）

◇◇◇◇◇数1

◇◇コノ◇ジダイ、◇コノ◇トチガラノ◇ . . .

# お知らせ

## 勉強会

次回の勉強会は慎英弘（シン ヨンホン）さんに講演をお願いしました。テーマとして、重複障害者、特に視覚・聴覚の重複障害をお持ちの方々の状況について、お話しいただく予定です。また、コミュニケーションの手段として使われています指文字についても、お話しいただきます。

慎さんは、現在、花園大学で教鞭を取っておられます。著作には『定住外国人障害者がみた日本社

会』（明石書房）、『視覚障害者に接するヒント』（解放出版社）他があります。

5月12日（水）13時～15時 9Fホール

## 各曜日担当者のご紹介

98年度中から、各曜日担当者の交替が行われてきました。その都度ご報告すべきでしたが、ここで改めて、99年度の曜日担当者をご紹介します。

火曜日：国本、若林

水曜日：斎藤、相良、前田

木曜日：磯村、大深、沢田

金曜日：福山、宗像

以上の方々には点訳上のご相談に当たって頂いておりますほか、勉強会にも参画していただいております。日頃疑問を感じていらっしゃることは、是非とも勉強会で取り上げてほしいこと等ありましたら、担当者にお声を掛けていただければと思います。

## 『点訳通信』をお手伝い下さる方募集

『点訳通信』の編集を手伝って下さる方を求めています。

お願いします仕事は、企画（ちょっと大げさですネ）と校正です。点訳・ワープロの熟練度は必要ありませんが、通常の点訳活動のほかに、月1、2回ほどICCBに出てきて頂かねばなりません。

今年は何とか『点訳通信』を隔月発行したいと考えております。ご協力期待しております。今年度、『点訳通信』を担当します荒谷、または、職員の木村・中村までお申し出下さい。

## 校正表から

今回から、毎号というわけにはいかないと思いますが、2校の校正表を見てみなさんにお伝えした方がいいと思うことを『点訳通信』に書くことになりました。2校をしていただいているみなさん！校正をしていて、全体に伝えたいこと、特徴的な点などメモ書きでお知らせ下さい。

先日、ある2校者の方から次のようなご指摘をいただきました。

「表や図の取り扱いが各巻ごとにばらつきがある、また目次に掲げられている見出しについても、そのレベルに統一性がないように思う。」

といった趣旨でした。

1冊の本を点訳する場合、入力が完了するまでには2ヶ月なり3ヶ月なりという期間が掛かります。その間中、一貫した基準で図表や写真などの取り扱いをするためには、実際に入力に入る前に、本全

体を通してどんな方針で点訳するかを決めていただく必要があります。点訳にパソコンを使うようになってから、ぶっつけ本番でいきなり最初から入力し始める方が多いようですが、これではいい点訳書にはならないケースがあります。いくらパソコンを使えば簡単に修正ができるとはいっても、時間や労力などの点からも一定の限度はあります。

1校の校正をされる方にも「扱いの統一」に気を付けていただきたいのですが、ペア校正にしるグループ校正にしる校正という立場では限度があります。

点訳をされる方に、処理の方針を持ってから取りかかっていたいただきたいと思います。そのためには、下読みをしていただくことをお願いします。(森)



3月9日から12日にかけて4回行った「複合名詞の分かち書き」についての説明会に多数ご参加いただき有り難うございました。

あらかじめお配りした資料を見ていただければお分りの通り、これは「分かち書きルールの変更」といったものではなく、「従来のルールの整理」といった程度のものであります。整理した点は以下の通りです。

1. 3拍転成語については、従来自立性が強いと見て区切る語をリストアップしていましたが、今後は「連帯修飾語をともなって主語になりうる語」を自立性があるとして区切る。

2. 4字漢語で3字目が重なっていると考えられるものは、原則として区切って書く。但し、固有名詞で3字目が「海」「洋」などの語については、区切ると誤解の恐れがあるので続けて書く。

3. 洋語については、基本的に従来通りですが、極力例外をなくす。

4. 語頭にくる1字2拍の漢語和語・2字2拍の和語は続けて書くという原則は従来通りで、これについても例外を極力なくす。

5. 方向を問わず語が語頭にある場合、従来2拍の語も3拍の語も続けていたところを、2拍は続け、3拍は区切る事とする。これは従来のルールとは違っています。

以上の5点です。

他の点については触れていませんので、お間違いのないようお願いします。

説明会やその後のご意見などを参考に、若干補足した方がいい点や、追加した方が分かりやすい事柄などもありますので、なるべく早い機会に先日の資料の「補足」的な文書をお配りしたいと考えています。

この資料に基づく実際の点訳ですが、新しく点訳にかかるものから順次採用していただきたいと思います。実際に何かの本を点訳しておられる方でも、データを見直して修正できるようでしたら、現在取り掛かっておられる本からでも結構です。

実際に1巻分のデータを見直していただいた方の事例で見ますと、今回のルールの整理による変更は2ヶ所でした。

大きなルールの変更と思われる方がおられるようですがそうではなく、従来のルールの整理ですのでくれぐれもお間違いのないよう処理して下さい。(森)

# お願い

## 墨点字打ち出しについて

墨点字の打ち出しは、校正される前日までにフロッピーをお預かりしプリントアウトしていましたが、実際にはなかなか守られない状況となってきました。また、墨点字のプリンターも4台に増え、打ち出し環境も変わってきました。

そこで、墨点字の打ち出しを次の通り変更します。

1. 当日打ち出しのデータ
2. 校正日前日までに予約されたデータ

(1) の当日打ち出しは、各自で打ち出しをお願いします。4台あるプリンター何れを利用していただいても結構です、自由にお使い下さい。使い方のわからない方は、ご存じの方に尋ねられるか、木村・中村に声をお掛け下さい。但し、一時期に打ち出しが集中するおそれがありますので、うまく調整して下さい。

(2) の打ち出し予約は、前日までに打ち出し予約箱に入れておいて下さい。校正日までに打ち出し、個人ボックスにデータと共にお返しします。

## リクエスト図書の点訳

下記の図書のリクエスト点訳依頼が来ています。皆様のご協力をお願いします。

リクエスト図書とは、当センターをはじめ、他の図書館にもない図書を利用者の希望により作製するものです。個人の利用に直接結びつくもので、蔵書の少なさを補完し、読む権利を保障するものです。

- 『公務員受験・現代社会』東京アカデミー公務員専門学院偏
- 『公務員受験・適正／作文／面接試験』東京アカデミー公務員専門学院偏
- 『凛々しく暖かく』シング・ライク・トーキング
- 『俳句入門』俳句入門テキスト
- 『四季の作品鑑賞』俳句入門テキスト

